
世界の中心に背を向ける

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界の中心に背を向ける

【Nコード】

N8780N

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

真実はいつだって世界の中心とは程遠いところにある。見つけるのも自分、目を背けるのも自分だ。

言うまでも無いことだけど、普通である事と、シンプルである事と、ナチュラルである事って違う。

普通であるためにはシンプルだけでは駄目だし、自然体が世間一般的普通にびったり即してる人以外は、普通に生きようと思ったら普通を装う必要がある。

シンプルに生きるためにも、やっぱり普通を排し、ナチュラルな部分を幾らか加工する必要がある。

人間はナチュラルに「シンプルじゃない余分」を持つてるし、普通というスタンスにも無駄は多分に含まれるからだ。

ナチュラルに生きようとすれば、普通から外れる事を恐れちゃ駄目だし、シンプルな生き方と違って自身の内包する無駄を許容しなきゃいけない。

無論、生き方はこの3通り以外にも無数にある。

あくまで「なんとなく近い扱いをされてるけど実際は全然違う生き方」を例として3通りあげただけだ。

普通に生きる。

シンプルに生きる。

ナチュラルに生きる。

どれもが違う性質を帯びていて、時にその差異は相容れず、衝突する事もあるから、ある程度自分の生き方を意識的に選択する事は意義のあることだと思う。

そして「どついうタイプの人生を生きるか」だけじゃなくて「どの程度そつするのか」を考える事も大事だ。

どの程度普通に生きるか。

どの程度シンプルに生きるか。

どの程度ナチュラルに生きるか。

同じタイプの生き方を選択しても、程度によって人生の形質は全く別のものになってくる。

大事なのはバランスだ。

しかしこのバランスってというのは最適解が存在しない上に、常に変動してる。

だから「このバランスで行く」と断定的に決めてしまうと、大抵どこかで破綻する事になる。

最適に近い大まかなバランスの値を、常に探り続ける事が大切なのだと思う。

しかし厄介な事に、バランスを探る事にばかり意識を傾けると、人生はどんどん先細っていく。

時に頭で考える事を放棄して、なるようになれって具合に勢いに任せてみる事も必要だったりする。

思索、選択、バランス、行動ときて最後は覚悟なのだと思う。

考える事も大事で、やっちな事も大事で、最後の最後、自分の考えと行為に覚悟と責任を負うことが、最も大事なんだと思う。

この「覚悟と責任」を放棄してしまえば、それまでの思慮も選択も行動も全てが無為になる。

今まで考えてきた何もかも、やってきた何もかもが、ただなのでたためになってしまう。

20歳まで生きられない病気を背負ってても「自分は自分の人生を精一杯生きた。やりたい事はまだまだあるけど、自分がしてきた事には概ね満足してる。だから死ぬ事を恐れてはいない」と笑って言える少年がいる。

鎖で繋がれ、奴隷として扱われても、手で壁を打ち、足で床を打ち、リズムを刻み、レトリックと感情と声を駆使し周囲を勇気付ける黒人の青年がいる。

本物のラッパーだと思う。

マンホールの下の下水道で暮らす10代半ばの夫婦だって、互いを

守るために精一杯生きていて、薄暗い地下道で残飯をむさぼり、愛する人と話しながら、時に笑みをこぼす。

世界の中心ではなくても、場合によってはニューヨークの地下の下水道でだって、檻の中で鎖に繋がれてたって、死の病を患ってたって、愛を叫ぶ権利を人は持つてる。

住む家に恵まれ、食事も与えられ、権利も健康も与えられてるのに、自分の人生に満足してない人もいる。覚悟と責任からすぐ目を背けて逃げてしまつから、権利を正しく行使できない。

自業自得で権利を行使できない状態に自ら陥つたのに、それをすら自分以外の何かのせいにしてしまう。

僕みたいな人間の事だ。

世の中には望まない事がたくさん起こる。

誰も望まなくてもそれは起こる。

時には自分が巻き込まれる事もある。

嘆いて逃げるのも自分だし、背負って抗って克服して笑うのも自分。

ただ嘆いて逃げれば孤独が待ってるし、背負って抗って克服を試みるなら、似たような境遇の同志が待ってる。

結局は自分次第なのだ。

覚悟と責任、それから目を背けず背負っていける人間になっていきたいと思う。

誰からなじられようが、そうやって出会った仲間を大事にしたいと思う。

難癖つけたがる偏屈な人達の声と、肩を並べて歩く友達の声、どっちが自分にとって大事ななんて比べるまでも無いからだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8780n/>

世界の中心に背を向ける

2010年10月9日21時30分発行